

平成20年生駒市教育委員会第7回定例会会議録

1 日 時 平成20年7月25日(金) 午前10時

2 場 所 生駒市役所 401・402会議室

3 審査事項

(1) 生駒市「私立幼稚園設置・運営者」の募集について

4 出席委員

委員長	中井 公人	委員(委員長職務代理者)	中田 和子
委員	村田 浩子	教育長	早川 英雄

5 欠席委員 なし

6 事務局職員出席者

教育総務部長	大津 輪 幹 夫	生涯学習部長	長 田 二 郎
教育総務課長	峯 島 妙	教育指導課長	西 井 久 之
人権教育課長	宿 賀 忍	学校給食センター所長	奥 谷 茂 治
生涯学習課長	奥 村 直 幸	中央公民館長	松 本 裕 孝
南コミュニティセンター館長	上 埜 秀 樹	スポーツ振興課長	中 井 宏
教育指導課長補佐	井 上 廣	人権教育課長補佐	生 駒 芳 弘
生涯学習課長補佐	西 野 敦	生涯学習課長補佐	岡 田 安 寛
男女共同参画プラザ所長	安 田 潤 子	芸術会館長	行 元 政 樹
図書会館副会館長	辻 中 昇	スポーツ振興課長補佐	吉 岡 秀 高
書記	楠 下 崇 子	書記	村 田 充 弘

7 傍聴者 なし

午前10時 開会

○中井委員長：ただ今から、平成20年生駒市教育委員会第7回定例会を開催いたします。

~~~~~

○中井委員長：日程第1、前回会議録の承認を議題といたします。  
会議録につきましては、別紙のとおり調製しておりますが、いかがでございますか。

《 異議なし 》

○中井委員長：ご異議なしと認め、別紙のとおり調製することに決定いたしました。ご署名をお願いいたします。

《 署名 》

~~~~~

○中井委員長：続きまして、日程第2、本日の定例会の会期及び会議時間の決定を議題といたします。

私から本日の定例会の会期は本日一日とし、会議時間を本日午前10時から午後5時までとすることを提案いたしますが、いかがでございますか。

《 異議なし 》

○中井委員長：ご異議なしと認め、第7回定例会の会期は本日一日とし、会議時間を午前10時から午後5時までとすることに決定いたしました。

~~~~~

○中井委員長：続きまして、日程第3、諸般報告ですが、来月の行事予定について、各部庶務担当課長から報告を受けます。教育総務部について、教育総務課、峯島課長、お願いいたします。

《 峯島課長 報告 》

○中井委員長：生涯学習部について、生涯学習課、奥村課長、お願いいたします。

《 奥村課長 報告 》

○中井委員長：8月は中央公民館、南コミュニティセンター及び北コミュニティセンターの3施設で、自習室を無料開放するようですが、どのように啓発していますか。

○奥村課長：市のホームページに掲載いたしますとともに、7月15日号の広報紙に掲載させていただいております。また、7月8日の校園長会で、各校園長にチラシを配

布しております。

○中井委員長：教職員対象の生駒市教育研修会の内容について教えていただきたい。

○西井課長：午前の部は教育講演会で、セクシャルマイノリティの方から命の大切さについての講演があります。午後の部は、「先輩教師に学ぶ」というタイトルで、これまで生駒市内にお勤めいただいていた先輩校長3名を迎え、分科会形式でお話をいただきます。

~~~~~

○中井委員長：続きまして、日程第4、報告第17号「生駒市「私立幼稚園設置・運営者」の募集について」を議題といたします。

教育総務課、峯島課長から報告を受けます。

○峯島課長：日程第4、報告第17号「生駒市「私立幼稚園設置・運営者」の募集について」ご報告いたします。

設置場所は、白庭台2丁目3100番584で、白庭台が宅地開発された際、近畿日本鉄道株式会社から平成4年1月に寄付されました。敷地面積は、3,866㎡です。現在の利用状況ですが、行政財産の目的外使用で、白庭台自治会がコミュニティ活動の場としてゲートボールや地域のお祭りを開催されており、1年ずつの賃貸契約を結んでおります。

現在、生駒市は9つの市立幼稚園を運営し、幼児教育をすすめておりますが、白庭台の周辺においては、けいはんな線の開通に伴う宅地開発による人口増の見込みがあることや、市立生駒台幼稚園までの通園距離が長いことから、新たに私立幼稚園を誘致して、就園の選択枝を増やし、幼児教育のさらなる充実をはかるべく、設置・運営できる事業者を募集させていただくものでございます。

土地は、無償で貸与させていただき、概ね20年という長期的な運営をお願いできる学校法人を募集いたします。

開園は、平成22年4月を予定しており、収容定員は3・4・5歳児、各1学級で、定数は、幼児教育の学級編制に基づく35人としております。

なお、8月1日に大阪府下、京都府下の幼稚園と、奈良県下全域の私立幼稚園を運営する学校法人へ募集要項を郵送するとともに、ホームページに掲載したいと考えております。また、8月15日号の広報紙にも掲載し、市民の皆様にお知らせいたします。

受付期間は、9月8日から19日までの2週間で、10月に設置・運営者を決定し、私立学校法に基づく県の認可を受けていただきます。決定した折にはご報告させていただきます。

○中井委員長：ただ今、ご報告いただきましたが、皆様から何か質問等ございませんか。

○村田委員：土地を無償貸与し、概ね20年ということですが、期間は続く限りということですか。

○峯島課長：安定した経営をお願いしたいという思いから、概ね20年としましたが、募集要項には、「協議により更新を妨げない」と記載しております。

○村田委員：全国的には少子化傾向にあり、地方では、定員割れの幼稚園もあると聞きます。また、国では認定子ども園という施策を打ち出してきている中で、生駒市では、幼稚園を誘致するに当たって、見通しとしてどう考えているのですか。

○峯島課長：全国的にも、また生駒市としても全体では少子化と考えておりますが、白庭台の周辺（けいはんな線の沿線）については、マンションが建ったり、新町が開く予定もあり、子どもの数は当面は増加するだろうと考えています。

○中井委員長：市立の幼稚園を作るとなると、認可にかかる時間や、建設費、人件費等がかかってきますので、私立を誘致の方が賢明だと思います。

それでは、本案につきましては、報告のとおり承認いたすことにご異議ございませんか。

《 異議なし 》

○中井委員長：ご異議なしと認めます。よって日程第4、報告第17号「生駒市「私立幼稚園設置・運営者」の募集について」は、報告のとおり承認いたすことに決しました。

~~~~~

○中井委員長：本日の審議事項は以上でございますが、ほかにございませんか。

○中田委員：大分県教育委員会の人事の不正が話題になっていますが、生駒市の教職員人事には問題はないのですか。

また、教育委員の定員が5人となっておりますが、長期間、1名欠員のままになっていきます。人数が多ければ多くの意見が交わされ、教育委員会としても活性化されると思いますが、教育委員の人事についてはどうなっていますか。

○大津輪部長：生駒市立小学校及び中学校の教員については、県費職員であり県教委で採用しております。市では、独自の施策として小学校新1年生で30人学級編制を実施するために必要な市費講師を採用しておりますが、面接等を行い、厳正に審査した結果、採用しました。

その他、市教育委員会の職員としては、図書館司書、学校給食センターの調理員、幼稚園教諭等の専門職もおりますが、これらの職員は、市長部局の職員課が担当で、一般事務職とあわせて一斉に採用試験を実施しております。

また、教育委員の人事についてですが、市長からの任命となりますので、教育長から選任していただくようお願いをさせていただいており、市長の方で検討いただいておりますが、現在のところ1名欠員となっている状況でございます。

○中田委員：長期間、1名不在のままでございますので、「4人でもできる」と考えられないようお願いしたいです。4人でも問題なくやってこれたということではなく、教育委員会のためには、やはりあと1名を決めていただくようお願いいたします。

○中井委員長：この件については、市議会でも、ご質問いただいたと聞いています。一時は、3名という緊急事態もありましたので、教育長には市長への申入れについて、くれぐれもよろしく願いしておきます。

○早川教育長：ことの重要性は十分理解しております。

○中井委員長：先月、生駒市立学校給食センターへ視察に行かせてもらいましたが、1学期も終わり、その後どのようなようになったのか聞かせていただけますか。

○奥谷所長：7月1日から2時間喫食を試行いたしましたが、十分な結果は出ておりませんので、引き続き学校と連携し、工夫しながら2学期も実施したいと考えております。一方で、学校からは食管（配食に使う専用器具）が熱すぎるという、センターにとっては嬉しい苦情も届いております。

○中井委員長：学校給食センターを視察した感想は、施設はきれいに使っておりますが、建設後20数年が経ち、所々に老朽化が見受けられました。給食センターは、国からの補助金をいただいて建設しており、30年間を使用しなければなりません。そのことを踏まえた上で、今後の運営方式について、学校給食検討委員会でいただいた答申を説明していただけますか。

○大津輪部長：学校給食検討委員会でご審議いただきました結果、各校調理が望ましいものの、財政面等からも3ブロック方式で実施するのが望ましいとの答申をいただいております。

しかし、用地のことや、施設を建築中の給食の配分をどうするかなど、課題も多く、また、財政面では、学校の耐震化を優先して実施しておりまして、平成23年度には耐震化100%になる予定ですので、そのあたりを考慮しつつ計画を立てて、教育委員会にも相談しながら進めていきたいと考えています。

○中井委員長：市民の関心が高い話題ですので、どのような設備にしていくか十分検討いただきたいと思います。

○村田委員：日本の給食は世界に誇れるものだと思います。特に生駒市の給食は定評があり、実際に試食させていただいてもおいしかったです。生駒市は、中学校で給食を実施していますが、ほかの自治体の状況はいかがですか。

○大津輪部長：ほかの自治体の中学校での給食実施状況ですが、詳しい情報ではございませんが、奈良市は数年前に、ケータリングの給食を取り入れましたが、あまりうまくいってないと聞いています。近隣で中学校給食を実施しておりますのは天理市です。大和郡山市は、小学校だけございます。保護者の方が、子どもを育てる環境を考える際、中学校の給食を実施しているかないかも選択肢の1つに入ることもあるようです。中学校での給食実施は、これから子育てをしていただく若い世代に、生駒に定住していただくプラス要因として有効に働くと考えております。

○村田委員：学校給食センター視察の際、栄養士さんから話を聞かせていただきました。食材が高騰する中、大量の食材を切る作業を業者に発注せず、自分たちで調理するなど、できるだけ自分たちでできることは自分たちで行い、栄養士さんや調理師さんたちが毎日工夫して給食を作ってくださっていることが分かりました。そうした活動をホームページに載せ、市民の皆様が知る機会を増やせられればいいなと思いました。

2時間喫食のおかげで、熱いものは熱いうちに食べることができ、嬉しいことです。

先ほど、食管等が熱いという話もありましたが、食管等を子ども達が教室に運搬の際、熱さ防止のために滑り止めのついた軍手を使っている学校もあると聞きました。その点についてはどうでしょうか。

○奥谷所長：使いまわしとなると、清潔かどうか心配されると思いますが、もちろん洗っていただき清潔にして使ってもらっているはずですが、ペーパータオルを渡したこともあると聞いていますが、確かに何か工夫が必要だと思います。

○村田委員：生駒市教育委員会のホームページへのアクセス数は分かりますか。

○峯島課長：ホームページは、情報政策課で一括して管理しておりますので、教育委員会のページへのアクセス数は把握しておりません。今年度はホームページ作成に予算を頂戴しておりますので、できるだけ早くホームページを充実させるとともに、今回のように視察等も行い、ご意見をいただきながらより良いものにしていきたいと思っております。

○中井委員長：私も1日に1度は必ず市ホームページはチェックし、市長日記や教育委員会のページから、市の動向を見させていただいております。今年度は教育委員会のホームページ作成に予算がついているということなので、今後、ホームページを充実させていただくことを期待しております。

昨日実施されました、校庭の芝生化について説明いただけますでしょうか。

○峯島課長：春の校園長会で芝生化の申出を求めましたが、全校園から声はあがりませんでした。その後、早川教育長が生駒小学校校長時代にお世話になった地域の学校ボランティアの方に声をかけ、引き受けていただくことができ、生駒小学校で芝生化を行うことになりました。運動場の芝生化には、維持管理に費用がかかることや授業及び部活に支障が出る可能性がありますので、適切な場所と規模を考慮し、生駒小学校小運動場に芝生化を実施いたしました。7月10日8時30分より地域の自治会長、育友会の役員の方、NPOの方、早川教育長、市職員、教職員及び子どもたちで芝生の苗を植えました。

昨日、芝生の様子を見に行ったところ、苗が少し高くなっておりまして、このまま順調に成長するよう期待しております。芝生の成長の様子は、生駒小学校のホームページに多くの写真が掲載されていますので、ぜひご覧ください。

○早川教育長：校庭の芝生化を実施するに当たり、私たちが懸念していたのは、芝生の維持管理をどのようにするのかということでした。過去の例を見ても学校だけでは維持管理はできませんし、学校にこれ以上負担をかけるわけにはいかないので、芝生化の実施に対し、応募がなかったことは仕方がないことと思います。緑や芝生があるということは、今の時代に必要でありますし、運動場を芝生化することは多くの課題があるので、小運動場を中心とした適切な規模での芝生化は以前から私もいいことだと思っておりました。

生駒小学校では、学校が要望する仕事を地域の方々が学校ボランティアとしてお手伝いをし、学校を支えていただいている組織があります。その組織の方に、芝生を生駒小学校に植えて、維持管理していただけないかと頼んだところ、快諾していただきました。生駒小学校長にそうした経緯を相談にいき、ヒートアイランドや地球温暖化などの問題を抱えている中で、学校の芝生化は効果があり、小学校の美化に繋がり、環境教育にも効果があるということで、学校長にも承諾していただき、実施に至りました。

実際のところ、教務主任の先生、担任の先生、生徒等、様々な方に協力をしていただきました。ただ単に芝生を植えるだけではなく、芝生を植えることがどういう効果があり、何のために植えるのかということをしちんと説明していただいて、その自覚の上で児童に植えてもらったので、芝生化事業の意味がなされていると思います。自治会も大変協力的で、平日は子どもたちが水遣りを、土曜日は山崎町自治会が、日曜日は育友会が維持管理をしてくださり、大変ありがたいことです。

○中井委員長：やはり運動場の芝生化は維持管理が大変です。これから先、退職した団塊の世代の方々が地域に戻ってきますので、例えば、ボランティアとして活動していただけるよう、学校がどのように迎え入れ、啓発をするかが大切だと思います。先ほどのお話にもありましたが、学校だけでは芝生の維持管理は難しいと思いますので、手が挙がらなかったことは仕方がないことと思います。研修会の1つの延長として、生駒小学校の芝生化の状況等をお話いただき、教職員の方々にも芝生化をより身近に感じていた

だけたらと思います。自治会の方々、保護者、老人クラブ等、様々な方に学校へ気軽に足を運んでもらうようにすれば、市の教育もますます充実すると思います。

プールの時期ですが、市内のプールの様子はいかがですか。

○中井課長：市内3ヶ所のプールは、7月20日から8月31日まで開場いたしております。中でも、イモ山公園プールが例年以上ににぎわっておりまして、オープン初日は休日と重なり、一日に900人が来場されました。私はその日、北大和グラウンド等で行われていた近畿高等学校ソフトボール大会の公務中に報告を受けましたので、現場に出向き、多くのお客様が入った場合は、くれぐれも安全だけは確保して営業してくださいというお願いをしました。ほかのプールも今年の暑さのせいか、大変にぎわっておりますので、今後は現場にも出向き、事故のないように監視体制も含め安全な運営のお願いにプールをまわりたいと思います。

また、井手山屋内温水プール指定管理者の1次選考が終わり、3者が2次選考へ進みましたが、1者が辞退し、2者で2次選考をさせていただきます。決まり次第報告させていただきます。

○中井委員長：よろしくお願ひします。ところで、来年度、生駒市はソフトボールのインターハイ会場となるように聞きました。

○中井課長：7月28日から8月7日まで生駒市内のグラウンドのうち、総合公園、イモ山公園グラウンド、北大和グラウンド及び井手山グラウンドを会場として行われます。練習会場は市内の学校のグラウンドを借りる予定をしております。教育委員会を挙げての行事だと思ひますので、ご協力お願ひします。

○中井委員長：それでは、本日はこれにて閉会いたします。

~~~~~

午前11時 閉会